



2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月12日

上場会社名 株式会社 バナーズ 上場取引所 東
コード番号 3011 URL <https://www.banners.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 小林 由佳
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 大内 修 TEL 048-523-2018
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	2,502	22.8	153	52.8	141	59.9	105	59.1
2024年3月期中間期	2,037	0.4	100	30.5	88	27.5	66	19.1

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 106百万円 (59.3%) 2024年3月期中間期 66百万円 (15.3%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	6.89	—
2024年3月期中間期	4.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	8,731	2,535	28.8	164.19
2024年3月期	8,702	2,490	28.4	161.31

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 2,514百万円 2024年3月期 2,470百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	4.00	4.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,784	2.1	265	△2.6	238	△1.6	185	0.5	12.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	20,236,086 株	2024年3月期	20,236,086 株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	4,923,278 株	2024年3月期	4,922,752 株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	15,312,999 株	2024年3月期中間期	15,415,415 株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている連結業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する下で緩やかな景気回復が続く一方、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響や中国における不動産市場の停滞に伴う影響等の海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクや、物価上昇、金融資本市場の変動等、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような事業環境下におきまして、当社グループは全社を挙げて各事業の特性及び付加価値性を活かした事業活動を推進いたしました。

不動産利用事業におきましては、埼玉県本庄市の既存物件の再開発を継続するとともに、他の既存物件の収益の安定確保に努めながら更なる有効活用を検討してまいりました。今後も引き続き不動産市況や金利動向を考え合わせ、地域に根ざした成長性や資産性を見込める優良物件の取得に向けて、積極的に取り組んでまいります。

自動車販売事業におきましては、本田技研工業株式会社の施策と連動したSUVフェア(ZR-V・WR-V・VEZEL)を主軸とした販売活動を進めてまいりました。新型「FREED」の納車も始まり売上・収益に寄与しました。また、新型「N-BOX JOY」が本年9月下旬に発売する等、話題には事欠きませんでした。修理点検部門におきましては設備投資を用いた業務効率化や報奨金制度を続け、増収増益から基盤収益確保に努めております。お客様への情報発信や地域に根ざした販売活動を積極的に行ってまいります。

楽器販売事業におきましては、世界的な物価上昇や円安の影響による販売商品の値上げ実施に対して来店客数が落ち込むこともなく、本年4月下旬の価格改定前には駆け込み需要もみられ、楽器の売上が増加しました。また、演奏会やコンクール及び学校の部活動や市民団体の活動等も活発に行われ、楽器本体に加え消耗材であるリード及びリード製作関連商品の需要の増加傾向もみられました。更なる売上増加を図るため、万全なウイルス感染対策を継続するとともに独自イベントの開催やキャンペーンを実施し、インターネットやSNSを活用した宣伝活動の頻度向上にも努めました。

この結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高2,502百万円(前年同期比122.8%)、営業利益153百万円(同152.8%)、経常利益141百万円(同159.9%)、親会社株主に帰属する中間純利益105百万円(同159.1%)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①不動産利用

売上高は209百万円(前年同期比103.4%)、セグメント利益は149百万円(同104.3%)となりました。

②自動車販売

売上高は1,938百万円(前年同期比123.5%)、セグメント利益は12百万円(前年同期はセグメント損失1百万円)となりました。

③楽器販売

売上高は353百万円(前年同期比133.6%)、セグメント利益は47百万円(同257.9%)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末比29百万円増の8,731百万円となりました。

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比15百万円減の6,196百万円となりました。

当中間連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比44百万円増の2,535百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年5月14日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	837,377	935,849
受取手形及び売掛金	77,607	78,217
商品及び製品	815,906	798,657
原材料及び貯蔵品	4,573	4,488
前渡金	47	—
前払費用	9,785	17,175
1年内回収予定の長期貸付金	66	66
その他	14,925	13,202
貸倒引当金	△1,918	△1,910
流動資産合計	1,758,371	1,845,745
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,147,058	4,150,588
減価償却累計額	△2,013,396	△2,073,730
建物及び構築物(純額)	2,133,662	2,076,857
機械装置及び運搬具	208,112	215,551
減価償却累計額	△89,380	△95,933
機械装置及び運搬具(純額)	118,731	119,617
工具、器具及び備品	82,683	83,853
減価償却累計額	△61,233	△61,622
工具、器具及び備品(純額)	21,450	22,230
土地	4,255,896	4,255,896
リース資産	17,046	15,806
減価償却累計額	△9,123	△9,404
リース資産(純額)	7,922	6,402
建設仮勘定	2,575	4,665
有形固定資産合計	6,540,240	6,485,670
無形固定資産	2,634	2,437
投資その他の資産		
投資有価証券	1,502	1,502
長期貸付金	302,273	302,240
繰延税金資産	81,390	77,113
その他	27,395	28,247
貸倒引当金	△11,269	△11,269
投資その他の資産合計	401,292	397,833
固定資産合計	6,944,167	6,885,942
資産合計	8,702,538	8,731,687

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	270,891	326,127
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	185,438	181,434
1年内返還予定の預り保証金	56,800	57,109
未払金	23,823	16,208
未払費用	32,024	33,841
未払法人税等	36,827	33,944
未払消費税等	13,684	36,372
賞与引当金	18,477	23,292
前受金	300,773	333,599
その他	23,581	20,070
流動負債合計	1,262,321	1,361,999
固定負債		
長期借入金	2,791,770	2,699,868
役員退職慰労引当金	18,575	19,788
退職給付に係る負債	127,437	135,981
預り保証金	1,206,966	1,178,334
長期前受収益	80,097	76,969
繰延税金負債	—	1
再評価に係る繰延税金負債	718,180	718,180
その他	6,660	5,149
固定負債合計	4,949,687	4,834,273
負債合計	6,212,009	6,196,272
純資産の部		
株主資本		
資本金	307,370	307,370
資本剰余金	576,022	576,022
利益剰余金	776,931	821,142
自己株式	△829,802	△829,875
株主資本合計	830,522	874,660
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	1,639,601	1,639,601
その他の包括利益累計額合計	1,639,601	1,639,601
非支配株主持分	20,405	21,152
純資産合計	2,490,529	2,535,414
負債純資産合計	8,702,538	8,731,687

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	2,037,495	2,502,564
売上原価	1,530,980	1,885,005
売上総利益	506,515	617,558
販売費及び一般管理費	406,028	463,968
営業利益	100,487	153,590
営業外収益		
受取利息	2,452	2,224
受取配当金	51	49
その他	2,138	2,527
営業外収益合計	4,642	4,802
営業外費用		
支払利息	16,336	15,926
その他	501	1,261
営業外費用合計	16,837	17,188
経常利益	88,291	141,203
特別利益		
固定資産売却益	—	1,181
特別利益合計	—	1,181
特別損失		
役員退職慰労金	6,630	—
特別損失合計	6,630	—
税金等調整前中間純利益	81,661	142,385
法人税等	14,986	36,173
中間純利益	66,675	106,211
非支配株主に帰属する中間純利益	394	746
親会社株主に帰属する中間純利益	66,281	105,464

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	66,675	106,211
中間包括利益	66,675	106,211
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	66,281	105,464
非支配株主に係る中間包括利益	394	746

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	81,661	142,385
減価償却費	88,182	93,959
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,374	8,544
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,229	1,212
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,300	△7
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,868	4,814
受取利息及び受取配当金	△2,503	△2,274
支払利息	16,336	15,926
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△1,181
役員退職慰労金	6,630	—
売上債権の増減額(△は増加)	△3,027	32,215
棚卸資産の増減額(△は増加)	△307,563	△12,566
仕入債務の増減額(△は減少)	98,741	55,236
未収消費税等の増減額(△は増加)	△18,999	5,339
未払消費税等の増減額(△は減少)	△23,051	22,687
預り保証金の増減額(△は減少)	△31,619	△31,656
その他の資産・負債の増減額	2,553	△20,630
小計	△81,887	314,004
利息及び配当金の受取額	1,495	1,560
利息の支払額	△13,445	△12,897
役員退職慰労金の支払額	△6,630	—
法人税等の支払額	△35,230	△34,774
営業活動によるキャッシュ・フロー	△135,697	267,893
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△43,000	△33,400
定期預金の払戻による収入	72,000	20,000
有形固定資産の取得による支出	△4,493	△10,747
有形固定資産の売却による収入	—	1,181
貸付金の回収による収入	80,033	33
その他の支出	△55	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	104,484	△22,933
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△119,662	△95,906
自己株式の取得による支出	△81,160	△73
配当金の支払額	△62,632	△60,816
リース債務の返済による支出	△1,817	△1,692
財務活動によるキャッシュ・フロー	△165,272	△158,488
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△196,485	86,470
現金及び現金同等物の期首残高	1,294,427	750,890
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,097,942	837,360

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社における税金費用につきましては、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自2023年4月1日 至2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	不動産利用	自動車販売	楽器販売	合計	調整額 (注)	中間連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	202,886	1,569,722	264,886	2,037,495	—	2,037,495
セグメント間の内部 売上高又は振替高	30,840	3,502	—	34,342	△34,342	—
計	233,726	1,573,225	264,886	2,071,838	△34,342	2,037,495
セグメント利益又は 損失(△)	143,723	△1,329	18,256	160,650	△60,163	※ 100,487

(注) セグメント利益又は損失(△)の調整額△60,163千円には、セグメント間取引消去△1,338千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△58,824千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

※中間連結損益計算書の営業利益

II 当中間連結会計期間(自2024年4月1日 至2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	不動産利用	自動車販売	楽器販売	合計	調整額 (注)	中間連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	209,786	1,938,937	353,840	2,502,564	—	2,502,564
セグメント間の内部 売上高又は振替高	30,840	270	—	31,110	△31,110	—
計	240,626	1,939,207	353,840	2,533,674	△31,110	2,502,564
セグメント利益	149,884	12,181	47,091	209,156	△55,568	※ 153,590

(注) セグメント利益の調整額△55,568千円には、セグメント間取引消去286千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△55,854千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

※中間連結損益計算書の営業利益

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。